



こんにちは リハビリテーション科です

Vol.2—作業療法部門の紹介

作業療法士は障害の有無にかかわらずその人らしく生き活きたした生活を送れるよう、仕事、遊び、日常的な生活動作を通して、こころとからだを元気にするリハビリテーションの専門家です。私たちは患者さまがやりたいこと、できるようになりたいこと、求めていることを「それぞれの生活の場で、その人らしく」できるような支援を行っています。

具体的には、手や指の機能向上、認知機能の向上、そのほか、自宅環境に合わせた日常生活動作(トイレや着替えなど)や、家事動作(調理や買い物など)の練習、趣味活動の再開といった様々なアプローチを行っています。また、現在の介護予防では、人と人とのつながりを通して住民同士の相互支援が大切といわれています。そのため、当院でも作業療法にて集団調理や園芸、茶話会を行い、患者様同士のコミュニティの場も提供しています。

豆

知識 今回は作業療法士の専門分野のひとつである認知症についてお伝えいたします。

記録に残す、作品が残る、発表の場を設けるなど自己実現の場や達成感を味わえる機会を作ることが大切です

達成感を
味わう

生活習慣病の
予防と治療

生活習慣病と認知症は関連性が強いと言われています。肥満や高血圧、高脂血症などの生活習慣病を予防・治療していくことが間接的な認知症予防となります

運動

痛みや動きに制限があると生活の幅が狭まり認知症になるリスクが高まります。痛みのない範囲で運動し、脳を刺激することが大切です

社会的交流
の場を持つ

人と交流することで
脳を刺激し、生活を
より豊かにします

趣味活動を
継続する

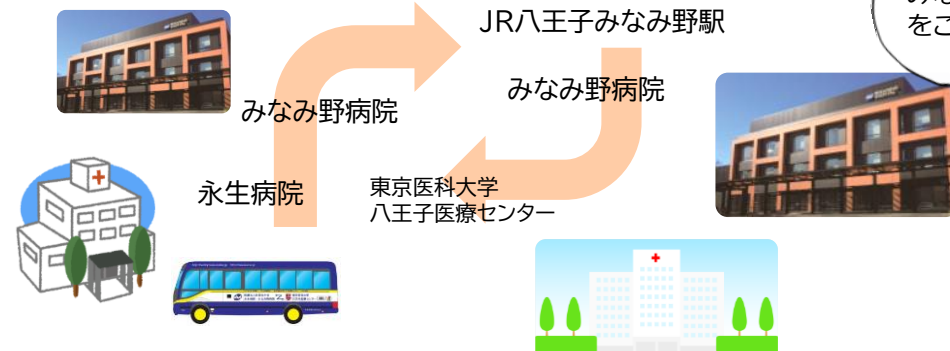
自分の意思で何かに取り組み、その活動を生活の中に取り入れることで、脳への刺激や身体機能の維持につながります

認知症予防 のための 5つの ポイント

シャトルバス運行中

みなみ野病院では、東京医科大学八王子医療センターと、永生病院との間でシャトルバスを運行しております。ぜひご利用ください。JR八王子みなみ野駅での乗り場はバス乗り場ではなく、タクシー乗り場の方です！お間違えなく！

バスの時刻表は
みなみ野病院webサイト
をご覧ください



医療法人社団永生会 みなみ野病院
〒192-0916 東京都八王子市みなみ野5-30-3
TEL 042-632-8118 (代)
TEL 042-632-8154 (入院相談)

■企画編集・発行／医療法人社団永生会 みなみ野病院 広報委員会



ご自由にお持ち帰りください

医療法人社団永生会
みなみ野病院広報誌
2020年 2月 発行



Vol 5
Take Free

はーとふる みなみ野

笑門来福

福



共立女子第二中学校高等学校
コーラス部のコンサート



病棟クリスマス会
【職員と患者さまとの
コラボ演奏】



理事長サンタ
【理事長のサプライズ】【力作を展示しました】



書初め

【contents】

- イベントメニューのご紹介
- インフルエンザの流行期です
- 医学講座を開催しました

- おもちゃキャラバンがやってきた！
- リハビリテーション科のご紹介
～作業療法部門について～



お正月 イベントメニュー

～家庭のあたたかさを患者さまにもご提供～



通常食



きざみ食

お献立
赤飯（もしくは小豆粥）
おせち
鱸 西京焼き
筑前煮
数の子
寿かまぼこ
栗きんとん
なごみ巻き
すまし汁

元日は、重箱を使用し、お正月らしくおせち料理をご提供いたしました。
カードは年賀状をイメージしております。
通常食、きざみ食の他に、それぞれの状態に合わせてペースト食やソフト食もご用意いたしました。

インフルエンザ等感染症の流行期です!!

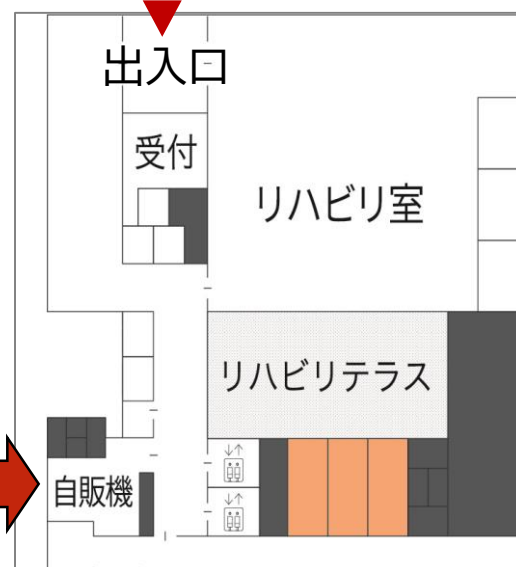
～マスクの着用と面会制限にご協力をお願いします～

冬はインフルエンザ等の感染症が流行する季節です。
免疫力の低い小さなお子様や高齢者は、感染症にかかりやすくなります。
特にインフルエンザウイルスは感染力が強く、突発的に高熱が出たり、肺炎などを併発する場合があります。
また、感染しても自覚症状がない方もいます。気づかずに他人に移してしまうこともありますので、感染予防策が必要となります。
自分と周りの人を守るために、「うがい、手洗い、そしてマスクの着用」が有効です。
昨今の報道での新型コロナウイルスの感染症に対する予防も同様です。



みなみ野病院では、ご面会の方には、マスクの着用をお願いしています。マスクは1階エレベータ前の自動販売機で販売しております。
なお、八王子市の感染症流行状況により面会制限をさせていただく場合があります。ご面会の方は、事前にホームページでご確認いただくか、病院へ直接お問合せください。

マスク
販売機



みなみ野病院で永生会医学講座が開催されました

10月17日(木)

テーマ【サルコペニアを知っていますか】

講師：リハビリテーション病棟医師 野本達哉
理学療法士 荒尾雅文
管理栄養士 木村翠

サルコペニアは聞きなれない言葉かもしれませんが、加齢や病気により、筋肉量が減少することで全身の筋肉低下や、身体機能の低下が起きることを指します。
野本医師からのわかりやすい説明のほか、管理栄養士からの予防のための食事のアドバイス、理学療法士による、自宅で出来る簡単なストレッチなど盛りだくさんの内容でした。
50名ほどの参加者は一緒にストレッチを行うなど、楽しめる講座となりました。



12月6日(金)

テーマ【在宅での自然な看取り ～それを支えるもの、妨げるもの～】

講師：緩和ケア病棟医師 吉本美和
看護師僧侶 玉置妙憂

吉本医師は、緩和ケア病棟での患者様の状態や経緯を、詳細な説明とともに紹介。
玉置氏は、がんの夫を、延命のための積極的な治療をせず家で看取った経験を、暖かい言葉を紡ぎながらお話していただきました。「看取り」という重い体験ですが、家族とともに過ごした夫との最期の思い出として、後悔なく明るく振り返ることができていると語り、聴講者も笑いあり涙ありの心にしみる時間になりました。



おもちゃキャラバンがやってきた!

～昔なつかしいおもちゃで遊ぼう～

みなみ野病院におもちゃキャラバンがやってきました。
ボランティアさんが昔なつかしいおもちゃをたくさん持ってきてくださり、患者さまと遊ぶレクリエーションです。
「これ知ってる～」 「なつかしい」などの声もあがり、笑顔があふれる、大変盛り上がったレクリエーションとなりました。
上手に羽子板をされる方や、コマを上手に回される方もいらっしゃってスタッフの方がビックリ!
昔のおもちゃはカラフルで、見ても動かしても、面白いものばかり! 子どもの頃や一緒に遊んだ友だちを思い出したり会話が広がるきっかけにもなりました。

